

マネープラン・ワークシート

進学にはさまざまな費用がかかるため、事前によく調べて準備しておくことが大切です。本誌の内容を参考に、具体的な進学費用のマネープランを考えてシミュレーションしてみましょう。

■入学1年目のマネープラン

入学前に必要な費用

受験関連費用

出願をするためにかかる費用	¥
受験のための費用	¥
合格発表・合否確認などの費用	¥
入学式出席のための費用	¥

学 費

学校納付金（入学金、前期授業料+α）	¥
教科書・教材購入費用	¥

生活費

住まい探しの費用	¥
生活用品購入費用	¥
その他の費用	¥

合計……① ¥

*「出願をするためにかかった費用」は、すべての受験料に加え、願書の取り寄せやその他出願に伴う経費の合計額を、「受験のための費用」は、受験に伴う交通費や宿泊費、滞在費・その他の経費(同伴者にかかった費用も含む)を記入してみましょう。

入学後に必要な費用

学 費

後期にかかる費用（後期授業料+α）	¥
-------------------	---

生活費

1カ月の生活費 × 12(1年分)	¥
-------------------	---

合計……② ¥

①+②=初年度に必要な費用……③ ¥

■ 2年次から卒業までのマネープラン

学 費

前期にかかる費用（前期授業料+α） ￥ _____

後期にかかる費用（後期授業料+α） ￥ _____

生 活 費

1カ月の生活費 × 12(1年分) ￥ _____

合計……④ ￥ _____

④×(修業年限-1)=2年次から卒業までに必要な費用……⑤ ￥ _____

③+⑤=受験から卒業までに必要な費用の総額 ￥ _____

■ 必要費用の調達方法

一般に、奨学金の初回振込は入学後となるため、入学前に必要な費用に充てることはできません。これらの費用は、家計内から支出するか、国や銀行などが扱っている進学・教育ローンを利用して調達するとよいでしょう。また、学校によっては、本来は一括で支払うべき所定額を、複数回に分割する「分納制度」や、納付期限を先延ばしにする「延納制度」等が用意されている場合があります。さらに、「制度」としてはなくても、個別の相談に応じたり、状況に対応したりするケースも少なくないため、困った時には、まずは進学先に事情を話すようにしてみましょう。

一方、入学後に必要な費用は、奨学金を利用して支払うことができます。入学後に申請可能な学校独自の奨学金が用意されている場合もありますので、あらかじめ学校資料を確認しておきましょう。

家計からの支出 ￥ _____

奨 学 金

●日本学生支援機構奨学金（時期 ～ ） ￥ _____

●学校独自の奨学金制度（時期 ～ ） ￥ _____

●国の教育ローン（時期 ～ ） ￥ _____

●民間金融機関系の
進学・教育ローン（時期 ～ ） ￥ _____

ア ル バ イ ト ￥ _____

合計 ￥ _____

○返済が必要な奨学金制度

制度名	借入総額(円)	毎月の返済額(円)	返済期間(年)	返済総額(年)